



香雲・子鳳・五郎 三人の合同遺作展

香雲、子鳳、五郎の合同遺作展が、若葉会(佐藤与資太会長)の人たちによって、十一月八日から三日間、中央公民館で開かれました。

鈴木香雲さん(本名豊太郎 東栄町一、明治三年八月生、昭和五年一月一日没)は、若いころ上京、南園の大家小室翠雲に師事し、日本画を学び、山水を得意としました。戦前から日本画の研究グループ若葉会を組織して、日本画を広めましたが、また、俳句をよくし、指導的な立場にあり、この地方の文化の水準を高めました。

水沢子鳳さん(本名敬作、稲荷浦、大正元年二月生、昭和五十四年八月没)は、子供のころ事故で両腕を失ったにもかかわらず、香雲さんに師事して日本画を学び、花鳥を最も得意とし、また俳句にも優れていました。

戦中には、新猪田陸軍病院を尋ね、両腕が無くともこのように絵が書けると傷病兵を励まし、当時の陸軍大臣から感謝状を贈られたこともあります。

水沢五郎さん(本名五郎、前新田、大正五年七月生、昭和五年二月没)は、若いとき上京し、中黒山出身の北上聖年に日本画を学び、農業のかたわら花鳥を得意としましたが、都合によって、昭和三十年ころにはほとんど絵筆を絶ちました。

内島見の日本画家高野常志さんが、絵の最



初の手ほどきを受けたのは、水沢五郎さんだったそうです。なお、この遺作展には、若葉会会員の賛助出席もあり、愛好家でにぎわいました。

三人の亡き画家の絵を見る人たちは、

『これは傑作』老人作品展

豊栄市老人作品展が、長い経験のにじみ出したものばかりで、十一月十七日から五日、青年研所で開催されました。

今回の出展者の中で最高齢は吉田ミサ子(嘉山三)と泉サヨ子(木)は、毎年各地区交歓で八十三歳でした。老人作品展の入賞は、次のとおりです。

入賞者

○書画の部

佳作賞 内山市三郎(川西) ツノ(新井郷) 山田村山

一 香野 橋本三治(内) キヨシ(早通南二) セーター

島見) 葉子皿 橋本ナヲ(新井郷) 田

○手芸の部

佳作賞 中林ハルエ(長場) 中川ツユ(下土地亀)

刺しゅう 佳作賞 本田ミ 佐藤ヨイ(内沼) はんてん



第四回めの老人作品展が開かれた青年研所。傑作が多く、市民を楽ませました。

大久保先生の遺墨展

長戸呂の大岡賢荘は、十一月二十三日から二十五日まで、「大久保正太郎先生遺墨展」が開かれました。これは長年にわたって、岡方地区の教育に尽力された大久保先生の徳をしのぶ人たちが集って開いたものです。

大久保先生は、南蒲原郡中之島村出身で、明治十七年に平林校(後の岡方校)に着任

その後三十五年間にわたって名譽も求めず、児童と青年の教育に専念され、地域の人士たちに大きな影響を与えたのです。また先生は、和漢の学問に優れ和歌と書の道にもたんのうでした。

岡方第一小学校に、先生の頌徳碑がありますが、灰塚地内にも、教えを受けた青年たちが建てた歌碑があります。

葛塚中が圧倒的強さ 県中学校新人卓球大会

第八回新潟県中学校新人卓球大会(十一月十八日、於豊栄南小学校、九人制(男子五人以下女子四人以上)の混合チーム)

①葛塚中三勝 ②吉田中二勝 一敗 ③新井中一勝二敗 ④三条体育館 参加十六チーム

決勝リーグ戦(団体)

葛塚中 三〇〇 三条第三中 葛塚中 三〇〇 新井中

この結果

参加十三チーム

成績次のとおり

①高森新田A ②大瀬柳B

③長戸呂A 愛好会

木崎小が金賞に 全日本リーダ合奏大会

十一月九日、東京で九段会館で開かれた「全日本リーダ合奏大会」で、木崎小学校が見事金賞に輝きました。

この大会は、毎年開かれています。今年も、木崎小学校は、初出場ながら、大金星をあげたのです。

平井ツヨイさん(内沼、五歳)が、十一月十六日、日本善行会々長から表彰されました。

平井さんは、一昨年の五月二十六日夕方、用水に落ちた近所の子供を救助し、豊栄警察署長から表彰されました。このことが、社団法人日本善行会で認められました。

ロータリーが 介護者に寄付

豊栄ロータリークラブ(会長小黒健次郎)は、十一月九日に開かれた在宅おたまり老人、重度心身障害者介護者激励会に、十万円を寄付しました。

これは、国際ロータリークラブ七十五周年記念事業、豊栄ロータリークラブ十周年記念事業として行ったものです。

将来の農業をめざして 農業後継者育成研修会

十一月十九日、二十日の二日間、第八回市農業後継者育成研修会が、豊浦町月岡で開かれました。

これは、今日の農業情勢が依然として厳しく、農政、水田利用再編対策事業など、将来の農業経営問題に対処すべく、実践の後継者を育成する目的で、農協連絡協議会が催

したものです。

会場には、各地区から指導的立場にある農業者約六十人が参加、全国農協中央会総合対策部書記長渡邊謙氏の「八十年代日本農業の課題と農業の対策」と題した講演など、びっしりのスケジュールを予定どおり研修しました。

また、研修会場では、今年



中央の講師等から、2日間にわたり、びっしり受講した研修会風景。